

平成30年度
盛岡情報ビジネス専門学校
自己点検・評価委員会結果報告書

平成31年3月

平成30年度自己点検・評価結果報告について

ここに学校法人龍澤学館盛岡情報ビジネス専門学校の自己点検・評価結果を公表致します。

平成31年3月

学校法人龍澤学館
理事長 龍澤 正美

1. 学校の教育目標

本校の教育理念である「社会の発展に貢献すべく、現代社会や産業界が求める人材の育成を行うことを目的とする。そのため、資格取得のみならず、社会的常識と教養を備え、明るく健康的で建設的な考え方をもち、社会人として求められる『主体性』『課題解決力』『実践力』を備えた『気づき、挑戦し続ける人材』の育成に努める」に基づき、学生から社会人への移行がスムーズに行われるよう、様々な学習環境を提供する。

2. H30年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・企業連携や地域連携活動でより多くの外部との接点をもち、学生に様々な学習の機会を創出する。
- ・高度資格への合格、全国競技会・コンテストへの入賞等ならびにキャリア教育を通して、高いスキルと豊かな人間性を兼ね備えた人材を育成し、上場企業をはじめとする優良企業への就職につなげる。
- ・学生募集において、本校の教育活動やその成果が正しく伝わるような情報発信に努める。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

※適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1

(1) 教育理念・目標

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校における職業教育の特色は明確か	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
評価理由と改善策	教育理念や教育目標、人材育成像等については、入学時のオリエンテーションにおいて全員で確認することはもちろん、学校HPへの掲載や校内掲示、学生の手引きへの掲載などでいつでも確認できるように工夫している。また、学校案内や募集要項にも掲載し、高校生や保護者、また高校教員等にも広く発信するよう努めている。	

(2) 学校運営

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
評価理由と改善策	教育活動等に関する情報公開については、ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーを明文化し、次年度より学生の手引きに掲載ならびにHPにて公開することを決定している。また、シラバスについても次年度早々のHP公開を目指して最終調整に入っている。	

(3) 教育活動

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
評価理由と改善策	<p>教員の指導力向上に向けては、多様な指導を要する学生が増えている中、積極的に外部研修へ参加してノウハウを習得し、研修参加後には校内でのフィードバック研修を実施している。</p> <p>関連分野における高い指導力を備えた優れた教員の確保については、引き続き、関連企業・団体様との連携を深めながら優秀な人材の確保に努めていく。</p>	

(4) 学修成果

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3
評価理由と改善策	<p>就職については、引き続き学生個々のニーズや将来性を見越した就職活動を丁寧に支援していき、就職活動そのものが学生の成長に繋がるような質の高い就職活動に導いていきたい。</p> <p>退学については、学生本人との面談に加え、これまで以上に家庭・保護者と連携して生活面や精神面のサポートを強化していく必要性が出てきている。</p>	

(5) 学生支援

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
評価理由と改善策	卒業生に対しては、これまでの再就職支援に加えて、技術研修の実施を検討している。	

(6) 教育環境

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
2	学内外の実習施設、インターンシップ、異文化理解等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	3
評価理由と改善策	施設・設備については、常に現代社会の情勢や未来を見据えながら教育上必要な環境を提供できるよう、継続的に検討していく。 防災に対する体制については、非常時の備蓄などの対策について、引き続き検討していく。	

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4
評価理由と改善策	募集活動に際しては、教育理念や人材育成像、アドミッションポリシーについて理解・共感いただいた上で入学いただけるよう努めている。 教育成果については、教育活動の目的や経過なども伝えることでより正確に伝えられるものと考え、できるだけ具体的に伝えている。	

(8) 財務

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4
評価理由と改善策	法人本部で財務について適正に管理しており、財務情報についてはホームページで公開している。	

(9) 法令等の遵守

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	4
評価理由と改善策	個人情報の管理については、教職員のデータアクセスについて適正に管理している。今後も、定期的に教職員への研修を行い、個人情報保護の重要性を十分に理解させる取り組みを行っていく。	

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4
評価理由と改善策	教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献については、SECCON等への教室貸し出し、インターネット安全教室の開催などを行っている他、外部連携授業を展開し、地元企業のWeb制作協力や業務用アプリケーション開発、地産商品のラベル・ポスターデザインなどを行っている。学生のボランティア活動の支援も本校独自またはグループ校と連携して様々な内容で行っている他、学生講師による体験講座の開催も行っている。	

(11) 国際交流

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4
3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4
4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
評価理由と改善策	留学生の受け入れに関する戦略や国内外で評価させる取組みについては、引き続き、法人の担当部門と連携を図りながら留学生が安心して学べる環境の提供に努めていく。	

4. H30年度の総合的な自己点検評価結果と今後の目標

H30年度も、活発な地域連携活動や企業連携学習が行われ、専門分野大手企業への就職やコンテストでの上位入賞、情報処理国家資格取得者の多数輩出など、高い実績を収めることができた。一方で、学生の価値観や常識、社会性が年々変化する中で、社会人として当たり前で備えておくべきマナーに関する指導や、様々な経験の場を提供し学生の内発的な成長機会を増やしていくことの重要性は増すばかりである。教職員も常に研鑽を積み、教育活動にあたっていきたい。

また、今後は専門学校も一層の情報公開が求められることになるため、適切で十分な情報公開を行うべく、整備を進めていきたい。

平成30年度
盛岡情報ビジネス専門学校
学校関係者評価委員会結果報告書

令和元年7月5日

学校法人龍澤学館

理事長 龍澤 正美

平成30年度学校関係者評価 報告

学校法人龍澤学館 盛岡情報ビジネス専門学校では、本校規定に基づき、学校関係者評価委員会を6月27日に実施いたしました。以下に、その内容についてご報告いたします。

今後は、各評価委員からの意見は指導等を真摯に受け止め、より良い教育より良い学校運営を目指し、教職員一同努力してまいります。

引き続き、一層のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

1. 学校関係者評価委員名簿

氏名	所属	役職
飯岡 一臣	株式会社IBCソフトアルファ	システム本部システム三部部長
高橋 学	株式会社北日本銀行	人事部長
内村 豊	有限会社クリップ	代表取締役社長
菊池 那紀	卒業生	
小堀内 志	卒業生	

《事務局》

松島 理香子	盛岡情報ビジネス専門学校	副校長
伊藤 政幸	同校	事務局課長
大矢 由美子	同校	キャリア支援課

2. 委員会次第

- (1) 開会挨拶
- (2) 学校関係者評価委員会の趣旨・目的の確認
- (3) 平成30年度自己点検・評価結果報告ならびに議論
- (4) 閉会

3. 議論内容

盛岡情報ビジネス専門学校の教育理念・目標と平成30年度に定めた重点目標と計画、活動内容等について事務局より報告後、「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえて作成された評価項目による自己点検・評価の結果に基づき、各項目の達成状況や取り組み状況、改善策等について議論を行った。

(1) 教育理念・目標

理念や目標の周知は適正に進んでいることを確認した上で、教育目標の実現に向けては基礎教養も大切な要素となるが、近年の語彙力の低下が著しく文章や指示内容を正しく理解できないという問題について議論がなされた。本や新聞を読む機会を積極的に設けることや、アウトプットの機会を増やすこと等の重要性を再確認した。

(2) 学校運営

情報公開について、これまで以上に詳細な情報の公開を行う必要性が高まっていることを確認（成績評価基準や授業計画等）。委員会開催時点で、すでにその準備がほぼ整いHPでの公開が行われていたことから、引き続き適正に運営していくことを確認した。

(3) 教育活動

適正に運営されていることから、特に意見は出なかった。

(4) 学修成果

昨年の委員会で、自己理解やキャリアプランニングなどの指導レベルの向上に取り組む必要性について議論されていたことを受け、内部外部の研修を活用しながら教職員の指導力向上に取り組んでいることを確認した。また、学生自身が人生の岐路において決断できる力を鍛えることの重要性についても議論され、決断や失敗を疑似体験できるような機会の創出について検討することを確認した。

(5) 学生支援

メンタルヘルスや発達障害等に関わるサポートについて、外部機関等とも連携しての支援体制構築を進めていることについて評価をいただくとともに、保護者との連携の重要性や難しさを確認した。

(6) 教育環境

インターンシップに対する取り組みが進んでいることを評価いただくとともに、今後は長期インターンシップの受け入れ先確保に向けて、新たな仕組みの構築を図る準備を進めていることを確認した。

(7) 学生の受け入れ募集

学生募集活動については、高校生の数が減少している中で他校では学生獲得競争も起こっているようだが、真摯に教育活動に取り組み、学生の成長・幸せと地域の発展に寄与していくことで選ばれる学校であり続けることを確認した。

(8) 財務

既に適正に管理運営できていることから、特に意見は出なかった。

(9) 法令等の遵守

定期的な研修を実施するなど努めていることから、特に意見は出なかった。

(10) 社会貢献・地域貢献

活発な地域貢献活動が行われていること、地域から頼られて様々な活動に関わる機会が増えていることから、今後も積極的に取り組み学生の成長機会にもつなげていくことを確認した。

(11) 国際交流

適正に運営されていることから、特に意見は出なかった。

4. まとめ

教職員が一丸となって地域社会や企業等との連携を図りながら健全な学校運営を行い、社会のニーズに対応した人材の輩出や様々な実践経験を積める学習環境の提供に努めて取り組んでいることを確認できた。社会のニーズや課題が多様化する現代社会において、実践的な職業教育を行う盛岡情報ビジネス専門学校の教育にかかる期待は大きい。その一方で、家庭・保護者との連携が必要な事案も増えていることから、一層の連携強化策の検討を進めていくことを確認して閉会とした。